

(4) ろ過装置の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所  
 ・常設

(1/2)

			変更前	変更後
名称			格納容器再循環サンプスクリーン	
種類	類	-	ディスク型	変更なし
容量	量 <sup>(注1)</sup>	m <sup>3</sup> /h		
最高使用圧力	力 <sup>(注6)</sup>	MPa	- (0.261)	変更なし - ( <input type="text"/> <sup>(注7)</sup> )
最高使用温度	度	℃	122	変更なし <input type="text"/> <sup>(注7)</sup>
主要寸法	ディスク	たて	mm	
		横	mm	
		高さ	mm	
	ギャップ	枚数	-	
		外径	mm	
		高さ	mm	
	枚数	-		
コアチューブ外径		mm	変更なし	
材料	ディスク		-	
	ギャップ		-	
	コアチューブ		-	

		変 更 前		変 更 後	
個 数 (注11)		1 (注12)		2 (注13)	
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	格納容器再循環サンプスクリーン 格納容器再循環サンプ	格納容器再循環 サンプスクリーンA 格納容器再循環 サンプA	格納容器再循環 サンプスクリーンB 格納容器再循環 サンプB
	設 置 床	—	[Redacted]	変更なし	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

(注1) 1系統当たりの流量を示す。

(注2) 有効吸込水頭がポンプの必要有効吸込水頭 [Redacted] 以上

(注3) 有効吸込水頭の設計値は、 [Redacted]

(注4) 公称値

(注5) 有効吸込水頭の設計値は、 [Redacted]

(注6) 格納容器再循環サンプスクリーンは、その機能及び構造上耐圧機能を必要としないため、最高使用圧力は適用されないが、ここでは、原子炉格納容器の最高使用圧力を ( ) 内に示す。

(注7) 重大事故等時における使用時の値

(注8) 記載値は公称値であり、部品単位の寸法を示す。

(注9) 1モジュール当たりの数量を示す。

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ASTM A240 TP304 (SUS304相当)」と記載

(注11) 系列数を示す。

(注12) 1系列は [Redacted]

(注13) 1系列は [Redacted]

(注14) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、取り付ける機器を示す。

(注15) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。